

バトンタッチ！ {学院のスタッフ}

「潤也君」から「純一君」へ
バトンタッチ!

■23期生で、卒業後、学院のスタッフとして働いてくださっていた西岡潤也兄弟が、8月いっぱいまで退職、故郷の九州熊本に戻られました。入れ替わりに今年7月卒業の25期生の高木純一兄弟が、潤也君の仕事を引き継ぎ、仕えてくれます。優秀な卒業生たちが、感謝の心を持って、このように、学院で共に仕えてくれることは大きな祝福です。潤也君の九州での働きと、純一君の学院での働きのため、祝福をお祈りください。



親切です。その点日本人はどうでしょうか？今日たまたま日本語専攻のよい生徒たちに放課後会い、病気の父に国際電話をすることができました。あいにく父とは電話口で話すことはできませんでしたが、メッセージを残しました。そんなわけで、今日も、なんとか感謝で一日を終えることができそうです。すべてを益としてくださる主に、すべてを感謝し、委ね、満足し、従えるように、お祈りください。



●吉田夫妻や在校生に見送られて出発する「潤也君」



いつもマイペースでさわやかな「純一君」



★21期生の「高橋さやか(旧姓篠原)」姉妹(グレイスバイブルチャーチ札幌所属)に、9月25日、待望の女の赤ちゃんが誕生し、「光七子(ひなこ)」ちゃんと名づけられました。高橋夫妻の家庭と子育てに、神様の助けと恵みがあふれるようにお祈りしましょう。



●すやすや眠る光七子ちゃん

新しい命の誕生！
おめでとー！

卒業生の近況と
働きのレポート!



●13期生の「岡田喜代子」姉妹の証です。



■いつもお祈りありがとうございます。私は、8月でリバイバル新聞社を退職して、10月から市の知的障がい者施設で働くことになりました。リバ新には、寝たきりの状態から起き上がった後に導かれたこともあり、初めは週一回、新聞を手で折る作業をしていました。そのうち回復するにつれて仕事も2日、3日と徐々に与えられ、最終的にはフルタイムで働ける程にまで神様がいやしてくださりました。7年半仕えたこ

とになります。長年勤めた職場を離れるのは、とても寂しく、簡単なことではなかったのですが、社長から「成長したので外に出た方がいい」との勧めもあり、祈って一步を踏み出す決心をしました。ハローワークに行つて求人検索をすると、最初に今度の就職先の求人が出てきました。まさに自分にピッタリの好条件だったので、祈って面接に行つたところ、その日のうちに採用が決まりました！自分の力ではなく、神様の恵みと導きを感じました！

ずっと心の底に昨年訪れたバンングラデシユのブラザーたちのような生き方をしたいという願いがあったので、今回このように導かれたのかも知れません。ブラザーたちは、現地の最も貧しい人たちが、障がいを持った人たちに仕えてキリストの愛を表していました。これからも私に与えられている十字架の道に忠実に歩んでいきたいと思えます。



●中国で日本語教師として働く14期生の「杉田京子」姉妹からの近況報告です。



■新学期が始まって・・・こちら大連は日中まだ暑いですが、というかちょうどいい気候です。(9月)

大連の緯度はちょうど東北と同じくらいです。新学期が始まり、教員食堂で初めて写真を撮りました。会で一緒に新しい日本語教師と、大連外国語学院生(日本語教育では名門)で、アルバイトの女性たちです。ご覧の食事は1食3・5元。学校から補助がでているため格安で本当に助かっています。一方、学生食堂は10元前後と高いです。今学期も週3日ほどの授業だと思います。感謝です。会のボランティアと両立できそうです。今私には笑いが必要で、様々な問題やチャレンジがあるからです。今日も、ある出来事があった・・・♪「HEALER」♪を聞き

ながら、主の慰めを受け取りました。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、「笑う」と免疫力がアップするのです。これは医学的に証明されています。私はかつて、がん患者のクリニックに勤めており、学会である名医が発表されていました。たとえ作り笑いであっても有益ですという、大変ユニークな実験結果でした。また、「感謝する」と、体内からエンドロフィンという物質が出て、傷みや炎症を和らげる作用があることも医学的に証明されているそうです。



●中央がチャイナ服姿の京子ちゃん

ところで・・・ 私はここに何をしに来たのか」と悩むことがあります。最初はもちろん職を求めて来ました。確かに、色々な理由がありました。でも、中でも、唯一最大の命令をいつでもどこでも受けているため、上からの力を受け、すべての問題に対する恐れを乗り越えられるように、祈っています。

一方、生徒には本当に癒されます。特に、海外在住経験のある方は実に